



学校目標 **みずから学ぶ とともに創る たくましく生きる**

目指す生徒像

主体的に学び続ける生徒 仲間や先生と共働できる生徒 壁を乗り越えるたくましい生徒

「子どもに発し、子どもに還る」

～やわらかく あたたかく しなやかに～

確かな学力向上

- 1 教師の授業力を高める
 - 「自ら学び、ともに伸びる生徒の育成」
 - ・「授業実践ウィーク」の実践。
 - ・授業を見合い、生徒理解を深め授業改善のヒントを共有する。
 - ・授業評価（年2回）を活かした授業づくり。
 - 「主体的・対話的で深い学び」
 - ・授業がもっとよくなる3観点「ねらい、めりはり、見とどけ」を意識した授業展開。
全校集会での目的の確認。
学習問題の明示
信州型UDの活用
合理的配慮の実践
グループやペアで協働して学び合う場の設定
タブレットの活用（ICT）
 - 学びの場づくり
 - ・全校朝読書で気持ちを整えるとともに、活字に親しませ、豊かな読書体験につなげる。
 - ・学習支援ボランティアによる放課後学習支援の実施
- 2 家庭学習の充実
 - ・『紡ぐ』を活用した宿題スタートタイムの充実
 - ・家庭学習の質と計画性の向上

豊かな心の醸成

- 1 人権同和教育の推進
 - ・すべて 教育活動に人権尊重の視点を取り入れ、生徒一人一人が位置づく学校づくり。
 - ・学年ごとに「人権宣言」の作成。
- 2 「特別の教科 道徳」の確実な実践。
- 3 特別支援教育の充実
 - ・通常学級の個別の支援計画作成、職員研修の実施
 - ・通級教室サテライト校の運営
- 4 生徒会との連携
 - 生徒会活動の3本柱
 - ・清掃
「雨音が聞こえる清掃」（黙想 ひざつき清掃：身支度・時間いっぱい・無言清掃）
 - ・合唱
「心と歌声のハーモニー」（ア・カペラ混声四部合唱の校歌3部構成の音楽会）
 - ・地域貢献
「地域に歩みだす」福祉活動・クリーンキャンペーン・総合的な学習との連動等）
 - あいさつを交わし合う学校
生徒会、青少年ネットワークと連携したあいさつ運動
- 5 不登校傾向生徒への支援
 - ・多様性を認める学年学級作り
 - ・個別支援とチーム支援（支援員・相談員・生徒不適應加配教員等）
 - ・小中連携、保護者や外部機関との連携

心身の健康と体力向上

- 1 コロナウィルス対応を継続し、健康で笑顔あふれる生活のための保健指導の充実
 - ・性教育（命の学習）・薬物乱用防止教育の推進
- 2 食育、給食指導の推進
 - ・食事についての正しい理解と望ましい習慣形成
 - ・給食を通して社会性を養う
 - ・地産地消、伝統的な食文化についての理解
- 3 保健体育科での体力向上「運動が好き」「短距離走」をさらに伸ばす。
 - ・発達段階にあった筋力アップトレーニングの工夫。
 - ・健康教育を意識した保健指導
- 4 キャリア教育を意識した総合的な学習の時間の探究的学習の計画・推進、全体計画の見直し
- 5 活気ある充実した部活動
 - ・計画的な活動、基礎体力作り、チームワークとリーダーシップ 健全な先輩後輩づくり。
 - ・全校の規範となるあいさつ、規律ある生活。

【数値目標】 「ややあてはまる以上の評価」について

- 学校評価アンケート「学校が楽しい」を90%以上にする。
- 授業評価アンケート「学校で好きな授業がある」を90%以上にする。
「授業の内容がわかる」を90%以上にする。